

自分の生き方を考える

～ 卒業レポートの取り組み～

< 高等学校 >

目的 卒業レポートの作成を通して、自ら課題を追究する力を養い、課題を解決する能力を身につける。
自己のあり方、生き方について考えさせ、豊かに生きる力を育てる。

<気づく>

「卒業レポート」のテーマを考える

ガイダンスを受け、卒業レポートの趣旨、テーマの選び方、作成の手順、タイムスケジュールなどを理解し、自分のテーマを探る。

卒業レポートガイダンス(卒業レポートの手引き、仮テーマ票の提出)
主題部門ごとの人数調整(教員の指導体制の構築)



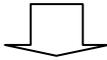
<広げる深める>

自分の興味、関心、生き方に応じたテーマを絞り込む

指導者と個別面談を繰り返し、主題を絞り込むとともに、完成までの見通しをもつ。

すべての教員が指導者としてかかわる。
先輩の生き方から学ぶ。

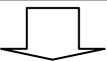
学校や近隣の図書館の活用
資料の出展の明記



<計画する>

資料を収集・分類・整理・分析し、レポートの構成を考える

夏季休業期間などを活用して、各自の計画に従って、資料の収集・分類・整理・分析を行い、レポート構成や内容を考える。

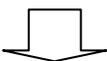


<実践する>

自分の考えた構成をもとにしながら、レポートを仕上げる

・下書き 添削 推敲 清書

課題を追究したことや、自分の考えを整理して、レポートにまとめる。
個別指導により視点を広げたり、専門的な知識等について深める。



<振り返る>

卒業レポート発表会で自分の作品を発表する

卒業レポートの取り組みを振り返り、自分自身の考え方や生き方について深める。
在校生にも聴かせ、次年度の見通しをもたせる。
紀要の配付、発表会への出席案内などにより、保護者や地域の人に周知する。

日常的・継続的な指導

紀要集を卒業前に3年全員に配付